

ワールドチルドレン芸術祭 2022年度 活動報告書

(2022年4月～2023年3月)



目次

1. これまでの活動経緯 [3](#)
2. 2022 年度活動概要 [5](#)
3. 2022 年度会計報告 [8](#)
4. 2023 年度学生代表より [9](#)
5. 生田目学文教授より活動再開のお知らせ [10](#)

1. これまでの活動経緯

今日、世界では貧困、紛争、虐待など様々な理由により住む家がないため、路上生活を余儀なくされているストリートチルドレンといわれる子どもたちが1億人いると言われてます。彼らは生きるために、学校へ通うこともできず、ゴミを拾いお金に換えたり、物乞いしたりすることで日々を懸命に生きています。さらに、彼らは飢餓の危険に直面しているだけでなく、誘拐されて子ども兵として戦場に送り込まれる、臓器を奪われる、性的な被害に遭うなど、さまざまな脅威にさらされています。

「ストリートチルドレン芸術祭」（現ワールドチルドレン芸術祭）が誕生したのは2005年のことでした。路上で暮らす子どもたちをただ単にかわいそうと見るのではなく、彼らの描く絵を通じて、彼らの存在や思い・感性・可能性を一人でも多くの人々に実感してもらえたらという願いから、ストリートチルドレンに特化した芸術祭を開催する組織として世界で初めて誕生しました。ストリートチルドレン芸術祭は有給スタッフ不在の無償ボランティア団体です。当初は熱海市立小嵐中学校の生徒・校長の中島洋一郎先生をはじめとする教職員のほか、各地の小中学校の教員、国際協力関係の団体職員、会社員、主婦、大学生、高校生、そして歌人の田中章義さんら、内外30名ほどのスタッフで構成されました。世界100か国以上に広がる国際協力機構（JICA）のネットワークやNGO団体、世界の若者たちのネットワークなどの協力を得て、世界の子どもたちの絵は集められ、これまでに世界中の子どもたちから1000点を超える作品が寄せられてきました。

東京に本部を置く「ストリートチルドレン芸術祭実行委員会」が制作するチャリティーカレンダーは、シンガーソングライターのイルカさん、俳優の榎木孝明さんら、各界の著名人と静岡の中学生たちが、子どもたちのために掲載用の作品を無償で選出したのがはじまりでした。ここで得られた収益はストリートチルドレン支援をしている現地NGO協力のもと、こどもたちの自立支援や生活改善、学校へ行くための費用などに活用されています。

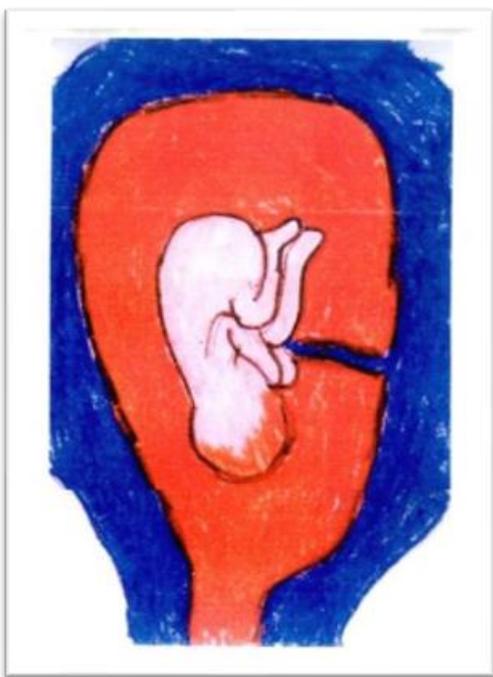
そして、芸術祭の趣旨に賛同した東北福祉大学・生田目学文ゼミが2007年からカレンダー作りに参加したのが、私たちがはじまりです。3年間のゼミ内での活動を経て2010年からは大学公認の国際ボランティアサークルとして、より多くの学生が活動に加わり、活

動範囲も広がりました。しかし新型コロナウイルス感染症の影響を受け活動困難に陥り2021年に無期限の活動休止を発表しました。しかしながら長年に渡り当団体を支えて下さっているアルソア様をはじめ、NPO 法人ピースウィンズ・ジャパン様のご協力のもと新体制として2022年に活動を再開することができました。多くの方々にご協力いただきながら、カレンダー制作、販売ならびに世界中の子どもたちが描いた絵の展示会などを行っております。

○活動の原点

この一枚の絵は、私たちの活動の原点です。

「将来自分が住みたい家」というテーマで、多くの子どもは田園風景に広がる小さな家を描く中、彼だけが、お母さんのお腹の中にある胎児を描きました。彼は、「だって自分が15年間生きてきた中でここが一番安全だから…」というコメントを寄せました。



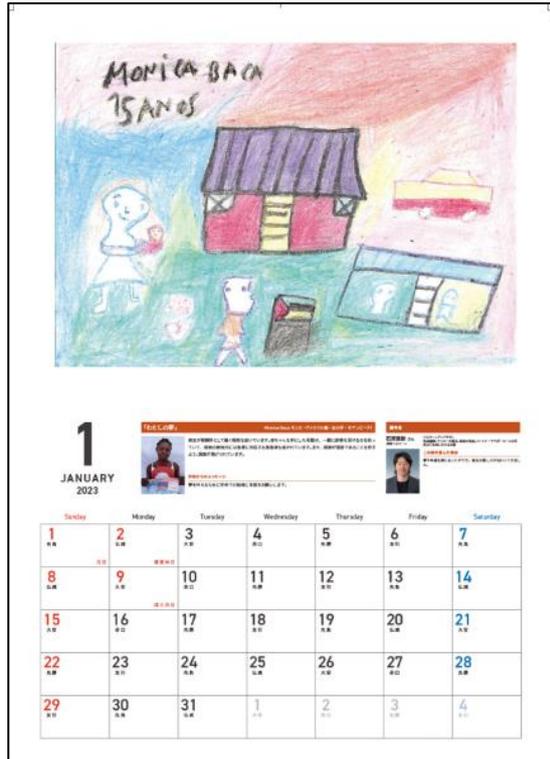
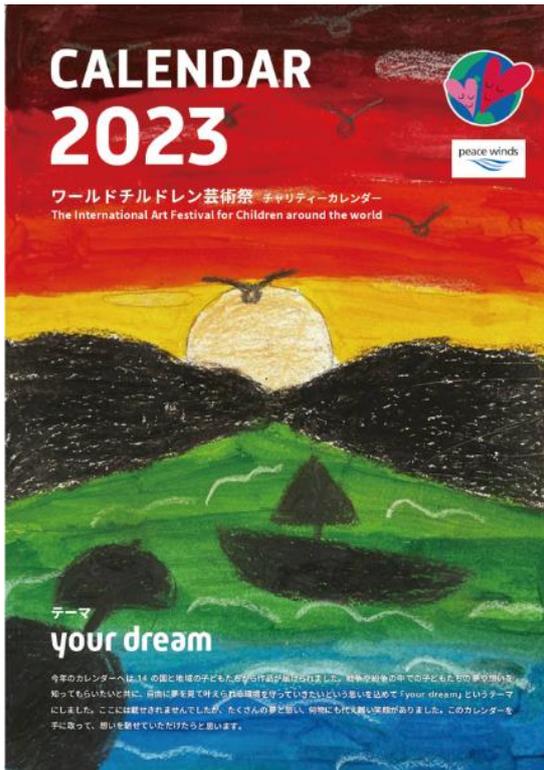
作者：ジェイソン（男子）
（2005年作品 提供時15歳）
国：フィリピン

2. 2022 年度活動概要

○2023 年度カレンダー製作

絵の作者と選考者

月	名前	年齢	出身	選考者
表紙	ヒバ・スレイマン	13	シリア	ワールドチルドレン芸術祭事務局
1月	モニカ・ヴァカ	15	モザンビーク	石原直樹さん
2月	ソー・ジュニオール・ゲー	14	ミャンマー	イルカさん
3月	アデバ・ハジ・ハラム	17	イラク	きむらゆういちさん
4月	アンキタ・ロカ	8	ネパール	田中章義さん
5月	ゴンジェリノ・メンドス・ソアレス	13	東ティモール	麗澤中学・高等学校 SDGs 研究会「EARTH」さん
6月	A.T	—	パレスチナ	ゆず 北村悠仁さん
7月	アイザック・トンベ	14	ウガンダ	榎木孝明さん
8月	ノエル・ピエール・ジョルダラン	18	ハイチ	中島洋一郎さん
9月	ショシュミタ・チャクマ	10	バングラデシュ	滝口玲子さん
10月	W.Tセパリカ	17	スリランカ	熱海市立熱海中学校さん
11月	ソフィア・デレカ	5	ウクライナ	鈴木明子さん
12月	ンガボ・ジェームズ	18	ウガンダ	東北楽天ゴールデンイーグルスさん
裏表紙	ハディード	13	アフガニスタン	ワールドチルドレン芸術祭事務局



○東北福祉大学学園祭「国見祭」

今までの原画を中心に展示し、学生をはじめ多くの方々に子供たちの絵を見て頂きました。国見祭でも展示会をきっかけに当団体を知っていただくこともあり、学内での活動の重要性を改めて実感しました。

開催日時：10月22日(土)、23日(日)

場所：東北福祉大学（宮城県仙台市）

○グローバルフェスタ JAPAN2022

国際協力、SDGs などに取り組む、官民様々な団体が参加する国内最大級の国際イベントに今回初出展致しました。多くの方に立ち寄って頂き私たちの活動の話に耳を傾けて下さいました。また私たち自身も多くの団体が人のため世界のために活動していることを肌で感じられた貴重な機会でした。

以下 6 か国計 46 作品を展示

イラク 9 作品・ウクライナ 5 作品・東ティモール 15 作品・スリランカ 8 作品
ウガンダ 7 作品・アフガニスタン 2 作品

開催日時：10月1日（土）、10月2日（日）

場所：東京国際フォーラム

○アルソア社内大会・本社訪問

アルソア社内で行われる社員大会に、オンラインで参加しました。アルソア社員の皆様に、芸術祭の活動・取り組みへの想いについて紹介させていただきました。社員の皆様に芸術祭の活動を知っていただける機会になりました。

また、3月13日にはアルソア本社訪問をさせていただき、本社見学・ミーティングを行いました。ミーティングでは、昨年度の活動報告・今後の活動について話し合い、活動についてアドバイスを頂くことができ、今後の活動につなげる貴重な機会となりました。

開催日時：3月3日（金）、3月13日（火）

場所：オンライン参加（社内大会）、アルソア本社（山梨県北杜市）

3. 2022 年度会計報告 2023/3/31

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	¥4,403,916	支援金 (PWJ) *	¥600,000
Arsoa 様協賛金	¥200,000	支援金 (インド・ダラムサラ)	¥150,000
Arsoa 様カレンダー代金	¥1,000,000	支援金 (モンゴル)	¥150,000
PWJ 様カレンダー代金	¥120,000	支援金 (バングラデシュ)	¥150,000
カレンダー販売 (個人) x 22	¥22,000	支援金 (カンボジア)	¥150,000
カレンダー販売 (イルカオフィス様) x 100	¥100,000	カレンダー制作費 + 名刺代 (ミヤックス)	¥503,679
クリアファイル 販売 (個人) x 5	¥1,000	グローバルフェスタ Japan2022 参加費用	¥218,976
グローバルフェスタ返金処理	¥450	アルソア本社訪問費用	¥108,792
ゆうちょ銀行利息	¥4	アースデイ東京 2023 出店料	¥61,930
みずほ銀行利息	¥42	郵送料・手数料	¥11,030
	¥5,847,412		¥2,104,407
		残高	¥3,743,005

* イラク・アフガニスタン・ウガンダ・スリランカ・ハイチ・東アフリカ (ケニア) ・パレスチナ・ミャン

マー・モザンビーク・南スーダン・東ティモール・ミャンマー：各 5 万円

4. 2023 年度学生代表 挨拶

2020 年度より「ワールドチルドレン芸術祭」という新しい芸術祭名になり、活動を始めていこうとした矢先新型コロナウイルス感染拡大によって活動のできない状況が続いていました。しかし、2022 年度からは新しいメンバーを迎え、慣れない作業ながらも協力してチャリティーカレンダーの制作、イベントへの参加を行ってきました。率先して活動をしている 4 年生の先輩の姿を見ながら、自分の役割を模索しながら活動に参加していました。

前年度の活動を終えて、自分やメンバー間での知識や計画性・情報共有等の不足が課題としてあげられました。そのため、計画に余裕を持たせることができるように、定期的な情報共有をしっかりと行っていくことを心がけて活動しています。今後は、行動制限が緩和されていくことからスタディーツアーで現地の子どもたちとかかわることや勉強会から、現地の実際を見て学んでいく機会をつくっていけるようにしたいと考えています。

ワールドチルドレン芸術祭として、「より多くの子どもたちの存在や思いを知っていただくことができるように、イベントへの積極的な参加、または開催すること」を目標として活動していこうと考えています。そして、積極的に活動していくことに加え、一般の方々に広く周知していただけるよう広報部分をしっかり行っていくことを心がけていきたいと思えます。学生代表になったばかりということもあり、不慣れなところも多く学生メンバーや先生には迷惑をかけることもあるかと思いますが、満足のいく活動を行っていきけるよう努力していきます。

ワールドチルドレン芸術祭 2023 年度学生代表

鹿野 未羽

5. 生田目学文教授より活動再開のお知らせ

2021年4月5日、ホームページにて「ストリートチルドレン芸術祭 活動休止のお知らせ」を公表しました。2019年暮れ以来の新型コロナウイルス感染拡大のため、学生たちの学内外でのボランティア活動が厳しく制限され、1年以上が経過したところでした。最年少だった学生たちが4年生になり、活動を引き継ぐこともできず苦渋の決断でした。

ところがその後、本学で活動を開始したときのメンバーで、IT企業を経て「国際協力機構」(JICA)の青年海外協力隊員として活躍したのち、国際協力NGO「ピースウィンズ・ジャパン」(PWJ)の一員となった佐藤健氏とのやり取りの末、PWJがチャリティカレンダー制作をはじめとする活動再開の後押しをしてくださることになりました。4年生のメンバーも就職活動や卒業に向けて忙しい中を活動再開に尽力し、後輩たちの中にも意欲的に参加してくれる学生が現れ、ついに2022年チャリティカレンダー制作を実現することができました。

かつての活動は、路上生活を強いられているストリートチルドレンを海外で活動する日本人が運営する団体から絵を提供していただいてカレンダーを制作するというものでした。このたび世界36か国で、難民をはじめとする自然災害、あるいは紛争や貧困など人為的な要因による人道危機や生活の危機にさらされた人びとを支援するPWJのご協力により、絵の提供先が一気に広がりました。これが私たちの活動を再開するにあたり、「ストリートチルドレン」から世界で危機にさらされている子どもたちを支援する「ワールドチルドレン芸術祭」へと団体の名称変更を行った理由です。

今後は、柱となるカレンダー制作・販売を中心に、グッズ制作・販売、各種イベントへの参加、メディアからの情報発信、地域における教育活動等を通じて、世界の子どもたちのために活動していく所存です。

これからも「ストリートチルドレン芸術祭」同様のあたたかいご支援をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

ワールドチルドレン芸術祭
東北福祉大学 生田目学文



〈連絡先〉

Mail: charity@tfu.ac.jp

〒981-8522

仙台市青葉区国見 1-8-1 東北福祉大学・生田目研究室内

TEL&FAX : 022-301-0601